

令和5年 第3回帯広市教育委員会会議録

1. 令和5年2月16日 木曜日 16時00分 ～ 17時30分
帯広市教育委員会会議を市役所 10階第2会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	柳 川 久
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	藤 澤 郁 美

3. 本日の議事日程

- | | |
|-------|--|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 議案第 3 号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程制定について |
| 日程第 3 | 報告第 2 号 令和 4 年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について |
| 日程第 4 | 報告第 3 号 帯広市奨学生選考委員会委員の解職及び委嘱について |
| 日程第 5 | その他 (1) 今後の事業予定について
その他 (2) 寄附受納について
その他 |
| 日程第 6 | 議案第 4 号 職員の人事について【非公開】 |
| 日程第 7 | 議案第 5 号 令和 4 年度帯広市一般会計補正予算(第 16 号)について【非公開】 |
| 日程第 8 | 議案第 6 号 令和 5 年度帯広市一般会計予算について【非公開】 |

広瀬教育長 　　ただ今から、令和5年第3回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(桑嶋企画総務課長補佐 報告)

広瀬教育長 　　日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は佐々木委員及び柳川委員を指名いたします。

日程第2、議案第3号、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規定制定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第3号、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程制定についてご説明いたします。議案書1ページをご覧ください。本案は、地方公務員法の一部を改正する法律の施行により、定年延長に伴い、新たに定年前再任用短時間勤務制度や暫定再任用制度が設けられることに対応するため、関係する教育委員会規程について、一括して改正しようとするものであります。帯広市図書館処務規程、帯広市児童会館処務規程、帯広百年記念館処務規程、帯広市動物園処務規程について、関係箇所の整備を行うものでございます。説明は以上です。よろしく願います。

これから質疑に入ります。

ありません。

広瀬教育長
各 委 員
広瀬教育長

別になければ質疑を終結いたします。

お諮りいたします

議案第3号、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規定制定については、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第3号は決定されました。

日程第3、報告第2号、令和4年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

報告第2号、令和4年度帯広市教育研究実践表彰、並びに帯広市学校文化活動奨励賞について、ご報告いたします。議案書34ページをご覧ください。はじめに、帯広市教育研究実践表彰についてご説明いたします。本表彰は、教育研究及び教育実践に優れた業績を上げた学校や団体、個人を表彰する制度として、昭和54年度に発足以来、令和3年度までの43年間で、75団体、34個人を表彰しており

ます。

今年度につきましては、団体で帯広市立豊成小学校、帯広市立啓北小学校、個人で帯広市立北栄小学校、松浦尚人教諭、帯広市立大空学園義務教育学校、小林学美養護教諭、以上2団体、個人2名に決定いたしました。

続きまして、議案書36ページ、帯広市学校文化活動奨励賞についてご説明いたします。本奨励賞は学校教育において、優れた文化活動を行った団体や個人を表彰する制度として、平成2年度に発足したものであり、令和3年度までの31年間で、74団体、74個人を表彰しております。

今年度につきましては、帯広市立帯広南商業高等学校クッキング部、帯広市立豊成小学校2年、新谷祐晴さん、帯広市立豊成小学校3年、平柳陸玖さん、帯広市立啓北小学校6年、大竹美羽さん、帯広市立大正小学校3年、久保咲楽さん、以上1団体、個人4名に決定いたしました。

なお、受賞理由や根拠につきましては一覧に記載のとおりでございます。また、表彰及び伝達につきましては、表彰は、後日各学校と調整のうえ、教育長より表彰する予定です。報告は以上です。

これから質疑に入ります。

質問ではなくて、情報提供です。今年、十勝川の治水100周年記念で開発局を中心に色々なイベントやお祝事が企画されておりますけれども、今、十勝毎日新聞でトークリレーが連載になっていて、3回目が2、3日前に米沢市長の連載がありました。これの最後の会が多分、豊成小学校のこの取り組みになると思います。宍戸先生だと思っておりますが候補になっており、その方に出させていただいて、トークリレーに参加して頂く予定になっております。以上です。

ありがとうございます。

大空学園の小林先生が実践をされているレジリエンス教育について、名前は聞いたことは何回もあるのですがけれども、具体的に授業現場でどのような実践をされているのか教えていただけますでしょうか。研修会はわかるのですがけれども、学校現場というか、クラスの中で、落ち込まないようにとか、辛くなった時の心の持ちようというような話だと思っておりますけれども、お分かりになれば教えていただければと思います。

レジリエンス教育につきましては教科書があるわけではないので、この小林先生を中心に、失敗しても落ち込んでも悲しくても辛いことがあっても立ち直る力ということで、学校におけるいろいろな場面とか、子ども同士の教育活動における落ち込む場面を紹介しながら、こういった時には、こういう風に気持ちを切り替えて立ち直るといふか、次に向かえるような、そんなことを子ども達に考えさせ

広瀬教育長
柳川 委員

広瀬教育長
田中 委員

西田 課長

ながら授業をするという1つのパッケージ的なものをこの小林先生を中心に作り上げて、それを授業の中で取り入れながらいろいろな場面の中で子ども達が考えて自分で立ち直っていく、そういった力をつけていく、というような授業を作り上げているところです。

田中 委員

もちろん子どもだけではなくて大人も、アンガーマネジメントでしたか、このあたりは大問題で、これからかなり重要になってくだろうなと思いながら読ませていただきましたので、ぜひ、何か更なる実践が見えてきたら、折に触れて報告いただければありがたいと思います。ありがとうございます。

広瀬教育長

他になれば質疑を終結し、本件を終了します。

日程第4、報告第3号、帯広市奨学生選考委員会委員の解職及び委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

報告第3号、帯広市奨学生選考委員会委員の解職及び委嘱について、ご説明申し上げます。まず、帯広市奨学生選考委員会委員に委嘱しておりました、鬼崎芳彦氏、有田美代子氏、河村榮治氏から、委員を辞任したい旨の申し出がありましたことから、令和5年1月31日付で解職したものであります。また、解職いたしました委員の後任といたしまして、伊東栄太氏、田中恵子氏、及び酒井國夫氏を、帯広市奨学条例第8条及び帯広市奨学条例施行規則第6条の規定に基づき、令和5年2月1日付で帯広市奨学生選考委員会委員に委嘱したものであります。委嘱期間につきましては、任期途中での委員補充のため、前任者の残任期間であります令和6年1月31日までとなっております。報告は以上です

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

各 委員

ありません。

広瀬教育長

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第5、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村木 室長

学校教育部の今後の事業予定の主なものについてご報告いたします。議案書は39ページです。まずは、企画総務課からの報告になります。卒業証書授与式につきましては、市内中学校及び義務教育学校は3月15日水曜日に市内小学校は3月24日金曜日にそれぞれ行われます。次に南商業高等学校では、3月1日水曜日に南商業高等学校において、卒業証書授与式が行われるほか、一般入学者選抜学力検査が3月2日木曜日に、合格発表が3月17日金曜日に、それぞれ実施されます。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部の今後の事業予定の主なものにつきましてご報告いたします。議案書40ページになります。生涯学習文化課

では、3月12日に帯広少年少女合唱祭記念演奏会を開催するほか、市民大学講座をご覧の日程で開催します。次に、図書館では、3月12日にとがちジュニア文芸誌編集委員会が開催され、今年度の振り返り及び来年度事業についての協議が行われます。次に、41ページ、児童会館では3月1日及び15日のもっくん教室のほか各種行事をご覧のとおり開催いたします。次に、43ページ、百年記念館では3月18日に百年記念館40周年記念ロビーコンサートを開催するほか、各種行事をご覧のとおり開催いたします。次に、動物園では3月4日と5日におびZoo探検隊を開催いたします。最後に、スポーツ課では3月11日に市民ゴルゲート大会を開催いたします。生涯学習部からは以上です。

広瀬教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

卒業式の形態について、帯広市もいろいろコロナ関係も緩和されてきて、形態が今までと違った形になったかと思えますけど、どのような方式でやられるのかを教えてくださいたいと思います。

西田 課長

報道の方でも卒業式の形態について報道されているところですが、文科省、道教委の方から通知が届きまして、それをもとに市教委としての考え方を今示しているところでございます。その中で、まずマスクの着用の部分ですけれども国の考え方があり、1つは児童生徒、教職員については、基本的にマスクについては外すことを基本とするという事で国の方から示されております。ただ、来賓であったり、保護者についてはマスクを着用するという事で、それについては座席間の距離、ある程度の触れ合わない距離を確保した上でという条件があって、その中でマスクは着用していただくという事になっております。保護者の参加については会場の大きさや規模によって違うのですが、これについては会場の大きさを鑑みながら、学校の方で考えていくことになっていきますけれども、制限等は付けないで実施するという事になっております。ただ、大きな学校については、入る人数も決まってくるので、そのあたりは、対策を取りながら考えているところでございます。それから、マスクを子ども達が着けなければいけない場面がありまして、それにつきましては歌を歌う場面など、いわゆる呼びかけをする場合についてはマスクをするという事、そういった考え方が示されておりますので、そのあたりを市教委としても同様に考えながら進めているところです。ただ、マスクの着脱については、いろいろな不安でマスクをしたい子も当然いると思いますので、そのあたりを配慮しながら進めていく必要があると考えております。以上です。

島田事務長

南商につきましても同じ文部科学省からの通知と北海道教育委員会からの通知、また帯広市教育委員会の方で検討されておられる内容等も踏まえまして、同様の内容で、保護者の方につきましては人

数制限はとるのですけれど、マスクをしていただくような方向で、生徒と職員の方はマスクを基本的に外して式を行う方向性で現在準備をしているところでございます。

広瀬教育長

他になれば質疑を終結し、本件を終了します。
その他（２）寄附受納についてを議題といたします。
直ちに説明を求めます。

村木 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書 44 ページをご覧ください。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方 1,554 名より 2,027 万 7 千円を、学校教育課担当分として、学校教育の振興のための奨学事業や、教育の研究に役立てるため、市外在住の方 278 名より 359 万 1 千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、こども学校応援地域基金外 1 基金に積み立てるものです。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する寄附についてご報告します。議案書 44 ページからです。はじめに、生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住の方 96 名より 127 万 5 千円を、また、地域の文化振興に役立てるためとして株式会社六花亭様より物品で文化ホール小ホールに観客用椅子一式をご寄附いただいております。次に、図書館では、図書資料充実のためとして、市外在住の方 97 名より 129 万 3 千円をご寄附いただいております。次に、45 ページ、百年記念館では、市の文化の保存振興を図るためとして、物品 2 件、幕別町在住の〇〇〇様より油彩作品、市内在住の〇〇〇〇〇様よりブロンズ作品をそれぞれご寄附いただいております。次に、動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市内及び市外在住の方 767 名より 971 万 4 千円をご寄附いただいております。最後に、スポーツ課では、スポーツ振興のためとして、市外在住の方 172 名より 231 万 8 千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、ふるさと文化基金他 4 基金に積み立てるものです。生涯学習部からは、以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

藤澤 委員

文化ホールの小ホールの観客用椅子が新しくなったという事で、大ホールの時は若干座席数が少なくなったと思いますけれど、小ホールはいかがでしょうか。

藤原 課長

今回、小ホールの更新にあたりましては、今現在、椅子幅を少しゆったりする椅子を導入予定でございます。現行 560 席でございますけれども、少し減りまして、更新後は 512 席になる予定です。椅子幅は現行 500mm が更新後は 530mm の椅子を導入する予定でございます。以上です。

藤澤 委員

ありがとうございます。

広瀬教育長

他になければ質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事務局

ございません。

広瀬教育長

事務局からは特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各委員

ありません。

広瀬教育長

別になければ、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第6から第8の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第2号及び第3号により非公開に、日程第9から日程第10の案件については、同項第1号及び第2号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第6、議案第4号、職員の人事についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第4号、職員の人事についてご説明いたします。議案書7ページをご覧ください。本案は、令和5年2月28日付及び同年3月1日付、帯広市教育委員会職員の人事について、決定しようとするものであります。人事異動となる者は、議案書8ページの名簿とおりであります。説明は以上です。

これから質疑に入ります。

広瀬教育長

ありません。

各委員

別になければ、質疑を終結します。

広瀬教育長

お諮りいたします。

議案第4号、職員の人事については、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第4号は決定されました。

日程第7、議案第5号、令和4年度帯広市一般会計補正予算（第16号）についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

議案第5号、令和4年度帯広市一般会計補正予算（第16号）についてご説明いたします。議案書9ページをご覧ください。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものであります。

12ページをご覧ください。教育費にかかわる3月補正予算額は、中段左側の第50款、教育費、補正額の欄にありますとおりで3億6,423

万6千円であり、補正後の予算額は61億6,721万8千円となるものであります。

補正予算の詳細について、15ページ以降の事業別内訳書にて、ご説明させていただきます。学校教育部に関わるものからご説明いたします。17ページをご覧ください。新型コロナウイルス感染症対策関連分のうち、学校保健特別対策事業費につきましては、国の補助事業を活用し、感染症対策を徹底しながら学校教育活動を継続するための取り組みを支援するものです。続きまして、18ページをご覧ください。寄附金に関して、ご説明いたします。寄附金とその利子について、寄附者のご意向に沿いまして教育振興基金に1,614万7千円を、こども学校応援地域基金に5,457万6千円を、それぞれ積み立てるものです。学校教育部からは以上です。

井上 部長

続きまして、生涯学習部の補正予算についてご説明いたします。15ページをご覧ください。はじめに、動物園施設整備費ですが、寄附物件でありますビジターセンター建設に伴い、支障となる電柱の移設、支障木伐採等に要する経費です。次に、社会体育施設管理運営費につきましては、昨年11月に発生した帯広の森運動施設の停電の復旧対応等に伴い、指定管理者への管理運営費委託料の増が生じたものでございます。次に、16ページです。燃料・電気料金の値上げに伴う対応分です。とかちプラザ管理費及び社会体育施設管理運営費につきましては、燃料費単価が指定管理者との基本協定書締結時に比べ、上昇したことによる管理運営費委託料の増となったものでございます。

内訳につきましては、とかちプラザ1,038万9千円、南町屋外運動施設117万2千円、となっております。続きまして、18ページをご覧ください。寄附金に関して、ご説明いたします。寄附金とその利息について、寄附者のご意向に沿いましてふるさと文化基金に616万2千円を、図書館図書整備基金に692万1千円を、19ページ、おびひろ動物園ゆめ基金に19,697万1千円を、スポーツ振興基金に520万4千円をそれぞれ積み立てるものです。生涯学習部からは以上です。

広瀬教育長
柳川 委員

これから質疑に入ります。

小学校費、中学校費と分かれていますけれども、義務教育学校の場合どうなのでしょう。

村木 室長

義務教育学校については、中学校費で計上させていただいています。

柳川 委員
田中 委員

わかりました。

17ページ、タブレット端末等が補正に入っているのですが、恐らくこれは壊れたものを補充するという事なのかと思うのですが、770万円位では買い替えられないと思うので、予算の話になる

とタブレット自体これからどうなるのか、そろそろ壊れかけているのではないかという気がしますが、どのような対応をされるおつもりなのか、困ってらっしゃるのか、よくわからないのですが、そのあたりをお伺いできればと思います。

高橋 課長

今回の補正の中のタブレット端末につきましては、今、確かに、おっしゃるとおり基本的に1人1台端末という事ですので、児童生徒に1台はすでに整備されております。その他、授業で使うための教職員端末なども基本あっています。ただ、特別支援学級とか、特別支援学級の教職員にはまだ十分に当たっていない部分がありまして、今回タブレット端末を90台程度、導入させていただいて、こういったところにも行き届くようにしたい、という事がひとつあります。今タブレット端末を使っていて、それと故障が、使い続けているとあるのではないかというお話ですが、おっしゃるとおりで端末1人1台持ち帰りや授業でも持ち出して使うものですから、故障というのは出てきます。そういった中で、修繕については、私どもの方で別の予算で対応してきているところと、今後どうしていくのかといったところでは、まだ国の方からこの後の端末の更新、整備をどうしていくのかは示されていないところがございます。引き続き私どもとしましては国の方に予算付を要望しているのですけれども、やはり、何年も持つものではないので、実際に使い続けているとバッテリーの充電が短い時間しか使えなくなるとか、いろいろな事が出てくるので、そういった状況はしっかりと見ていながら学校現場で学びに使えるように、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

田中 委員

今、伺ったとおりで、ただ、タブレット止めましたという話には、コロナが仮に終息しても、もう多分ならないだろうと現場では思いますので、何らかの対応をしていかななくてはならないのだろうなと思いますので、何か知恵を絞っていただければ、と思いました。以上です。

佐々木委員

今のお話に関連するのですけれども、もう既に故障が出てきているというお話が出てきましたけれども、もう少し具体的に、例えば、明らかに落として画面が割れたとか、動かなくなったとか、そういう破損とか故障とかの事例はどのくらい出てきているのか、大体各学校で何件くらいあるのか、もし、わかれば教えていただきたいと思っております。

高橋 課長

わかる範囲ですけれども、昨年度から端末の活用が本格化をしている中、学校現場での使い方、そして今のような臨時での休業に備えた形で1人1台端末の持ち帰りを進めてきており、活用が広がっている事で故障が増えてきているのは事実です。実際に今年度ですけれども、恐らくこの後の2月、3月、の見込みも入れて全体とし

てですが、件数は、300 件くらいは出てくるのではないかという見込みであります。故障の要因としては、落としたり、画面が割れたり、ということが多いところです。使用頻度が増えることで故障も増えるのは当然ですけれども、私どもでもこういった状況を踏まえまして各学校に児童生徒への使い方の指導、さらには保護者への利用の仕方を周知して、また故障の状況も出てきているので、改めて大切に使用していただくという周知を学校の方にしたところでございます。

佐々木委員
広瀬教育長

ありがとうございます。
他に別になければ、質疑を終結します。
お諮りいたします。

議案第 5 号、令和 4 年度帯広市一般会計補正予算（第 16 号）については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

ありません。
ご異議なしと認め、議案第 5 号は了承されました。

日程第 8、議案第 6 号、令和 5 年度帯広市一般会計予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第 6 号、令和 5 年度帯広市一般会計予算について、ご説明申し上げます。議案書の 21 ページからです。本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものです。まず、令和 5 年度の歳入予算についてご説明します。議案書 22 ページをご覧ください。下の表、3、教育委員会合計にありますとおり令和 5 年度当初予算は、19 億 4,446 万 9 千円で、骨格予算であった令和 4 年度の 6 月補正後の予算と比較しますと、5 億 9,770 万 5 千円の増となっております。主な理由としましては、上の表、1、学校教育関係においては、旧大空小学校解体工事に関連する国庫支出金や市債のほか、繰入金の増などです。生涯学習部関係においては、とかちプラザや帯広市民文化ホールの施設整備に関連する市債のほか、繰入金の増などによるものです。

次に、歳出予算についてご説明いたします。議案書 24 ページをご覧ください。まず、学校教育部及び生涯学習部を合わせた、令和 5 年度の教育費当初予算総額ですが、下の表、3、教育委員会合計の、教育費、予算額にありますとおり、63 億 7,656 万 1 千円であり、前年度 6 月補正後の予算と比較いたしますと、10 億 8,927 万 1 千円の増となっております。一般会計全体の予算につきましては、その下の一般会計、予算額にありますとおり、861 億 7,200 万円となっております。一般会計に占める教育費の割合は、7.4%であり、前年度 6 月補正後予算対比で 1.28 ポイントの増となっております。

それでは、学校教育部の予算から、ご説明いたします。議案書 23 ページをご覧ください。学校教育部関係の教育費予算総額は、表の上段に記載のとおり、35 億 5,963 万 2 千円であり、前年度 6 月補正後予算と比べ、6 億 4,511 万 3 千円の増となっております。主な増減理由につきましても、表の下に記載しておりますので、ご覧いただきたいと思えます。続きまして、令和 5 年度の学校教育部における主な事業につきまして、議案書 31 ページ、A 3 の令和 5 年度帯広市教育委員会予算(案)概要によりご説明いたします。この概要は、帯広市教育基本計画に掲げる 2 つの基本目標と、7 つの基本施策の体系に沿って整理しております。はじめに、左側の基本目標 1、夢の実現に向けて自立し互いに支え合う人づくりであります。まず、基本施策 1、帯広の明日を拓く力の育成では、ふるさと帯広への愛着と地域社会の一員としての意識を育むおびひろ市民学の推進や南商業高校における、キャリア教育や国際理解教育、社会人教育など、地域で活躍する人材の育成に継続して取り組むほか、学校給食センターにおいては、学校給食の更なる魅力向上のため、地元シェフや生産者等と連携した新たなメニューの開発など学校給食を通じた食育の推進を図ります。

次に基本施策 2、変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成では、データベース教材の作成や学力検査の実施、文化系・体育系大会への派遣支援、学校図書資料及び書架の整備などの取り組みのほか、新たに、学校給食の食材高騰に対応するための経費を計上しています。また、老朽化に伴い、八千代中学校の教員住宅の改築を行います。

次に基本施策 3、地域とともに育む教育の推進では、コミュニティ・スクール実施校を拡充するなど、学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

次に基本施策 4、安全・安心な教育環境の整備では、学校施設の長寿命化を図るため旧大空小学校の校舎及び体育館等の解体や、南町中学校の整備に向けた基本設計等をはじめ、体育館の屋根改修、受変電設備の更新、煙突用断熱材のアスベスト対策工事などを行います。また、新たに、中学校のプログラミング教育を効果的に行うためのプログラミングコンテンツや不登校児童生徒に多様な学びの機会を提供するオンライン学習プラットフォーム「ひろびろチョイス」を導入します。学校教育部関連の予算概要につきましては以上です。

井上 部長

続きまして、生涯学習部の予算についてご説明いたします。はじめに、歳出予算について、ご説明いたします。議案書 24 ページです。生涯学習部関係の教育費予算総額は、表の左上のとおり、28 億 1,692 万 9 千円であり、前年度 6 月の補正後予算と比べ 4 億 4,415 万 8 千

円の増となっております。主な増減理由につきましては、表の下に費目ごとに記載しておりますのでご覧ください。次に、生涯学習部における主な事業についてご説明いたします。議案書 31 ページ、基本施策 2、変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成からになります。子ども向け鑑賞機会提供事業では、親と子のわくわく音楽会や小中学生のための札幌コンサートの実施を予定しております。また、図書館・学校の連携事業として学校への図書貸し出し事業、ぶっくーる便の実施、児童会館における宿泊学習などの体験活動機会提供事業を行ってまいります。

次に基本施策 5、自ら学びともに支える生涯学習の推進では、生涯学習活動の拠点である、とかちプラザの施設整備として、劣化が目立つ外壁の改修を 2 か年計画で実施してまいります。また、児童会館施設整備として、寄贈いただいた昭和 50 年代の帯広市街地中心部のジオラマを常設展示し、市民にふるさとの歴史を伝えてまいります。さらに、動物園では、今年の 12 月オープンを目指し、馬ふれあい舎を整備してまいります。

次に基本施策 6、人が輝く文化芸術活動の推進では、市民芸術祭や新人演奏会の開催、伝統的なアイヌ文化・生活の場として、イオルの再生支援をはじめ、文化ホールの小ホールでは、市内企業から椅子の寄贈を受け、更新工事を今年の 11 月末頃から来年の 3 月上旬頃まで実施してまいります。

次に基本施策 7、笑顔をつなげるスポーツ活動の推進では、全国高等学校総合体育大会が帯広市を会場に 3 競技実施されることに伴う負担金のほか、2023 フードバレーとかちマラソンや日本クラブユースサッカー選手権大会の開催に係る経費を盛り込みました。スポーツ施設整備では、帯広の森体育館の天井脱落対策改修工事などを行い、スポーツ活動の促進や、スポーツによる活力あるまちづくりを進めてまいります。生涯学習部関連の予算概要につきましては以上です。

これから質疑に入ります。

質問 2 点を述べさせていただきたいと思います。まず、新規の事業で適応指導教室運営事業の不登校児童生徒に多様な学びの機会を提供するオンライン学習プラットフォームの導入の方法というのは、どのような形でやるのか、もう少し詳しく教えていただきたいのが 1 点目。

もう 1 点、同じく新規の ICT 教育環境整備事業の中学校におけるプログラミング教育を効果的に行うためのプログラミングコンテンツの導入について、中学校が妥当だとは思いますがけれども、中学校に限定した理由を教えていただきたいと思います。

まず初めに、適応指導教室の運営事業のひろびろチョイスについ

広瀬教育長
藤澤 委員

西田 課長

て詳しくお話したいと思います。ひろびろチョイスというのは不登校児童生徒が年々増加傾向であること、その要因が多様化、複雑化しているという状況があります。そういった状況の中で、不登校児童生徒に多様な学びの機会を提供するために、1人1台端末が当たっていますので、デジタル技術を活用した、具体的に言うとパソコンの画面上に仮想空間を作りまして、仮想空間に1つの教室を開設しまして、不登校児童生徒にアバターで、自分の分身で登校してもらい、様々なデジタル教材、例えば、電子図書などを活用したり、それから、教育研究所の方で様々な学びのコンテンツがありますので、そういったものを活用しながら学びの機会を提供していきたいと考えております。31ページの方に、ひろびろチョイスの画面のイメージが掲載されています。小さくて見づらいかもしれませんが、こういった仮想空間上に登校して来てもらって、そこで指導員が子どもと対話をしながら、今日1日の学習について子ども達に自分で考えさせて、仮想空間上で学びを深めて、最後はこの学びを振り返るといふ事をしながら、ひろびろチョイスに登校したことにより、出席扱いにしたいと考えております。その事によって子ども達がこの空間上で自信を付けながら、学校への復帰や社会的な自立を目指していきたいと考えております。なかなか難しい部分もありますのですけれども、個別の学びにならない様に指導員との対話ですとか、不登校で入ってきた時に不登校の児童生徒同士の対話もこの仮想空間上でチャットできるような仕組みがありますので、そういった仕組みも活用しながら、学校とも繋がりながら、相談員の方とも相談できるような仕組みをこの仮想空間上に作って提供していきたいと今、準備を進めているところです。

もう1点目のプログラミングの部分についても、現在、ご存じのとおり、高校では情報という教科が出来ました。大学入試の方でも、情報という事で新たな科目が導入されてくるという事で、小中学校の段階におけるこのプログラミング教育の重要性を感じているところです。その中で中学校においては、特に技術科の時間にプログラミングについて学びますけれども、教科書があつて、実際のプログラミングのテキストコーディングという、ホームページを作ったりする時のプログラミングの仕方もこのコンテンツを使う事によって、子ども達が自分で学びながらテキストコーディングを習得できるということで、そういった良さがあり、どの学校でも同じようにこのコンテンツを使えば学ぶ事ができるものになっています。最終的には子ども達がホームページを自分で作って立ち上げることもできるようなコンテンツになっています。小学校においては当然プログラミング教育の初期の段階で、今、学校の方にあるスクラッチというようなプログラミングの仕組みを学ぶ事もできるのですけれども、

そういったものを活用しながら中学年ではより高度なテキストコーディングにあたる部分で学習していく、そして高校に繋げるといった段階を踏みながら、プログラミング教育を進めていくためのコンテンツの導入と考えております。

黒島 参事

付け加えまして、最終的にはひろびろチョイスは学校復帰を目指すのが目標であります。世の中の風潮としてはいろいろな仕組みやコンテンツが出てきておりますが、今回立ち上げようとしているのは全国的にも先進的な取り組みになります。あくまでも帯広市としては学校復帰を目指すというようなコンセプトの中で取り組んでおり、つながりの中で学校復帰を目指していくという事と、もう1つ、ひろびろというものを私ども抱えておりますが、ひろびろに加えて教育研究所やそういった図書館等に加えて、フリースクールとかいろいろな民間と手を繋ぎながらより広がりのあるものに、という事も想定していくこととさせていただきます。

プログラミングの面については大学入試の共通テストの方で情報が入ってくるというような事も相まって、という事と、技術科教師が集まって実際に現在のプログラミング教育の現状をリサーチしたところ、掘り所の部分というところの不安さ、また指導内容の格差、学校間の違いもあって、中学校を卒業した後も学習保障というような部分が担保できない不安もあるという現状からこのような動きになっているという事を付け加えさせていただきます。

藤澤 委員
佐々木委員

ありがとうございました。

要望に近いのですけれども、関連として、図書資料刊行物等の整備、図書館関連の予算の話になると思います。まず確認したいと思います。現在、図書館では機械がたくさんあって、誰でも蔵書の検索ができると思います。例えば、書名で検索すると、出てきた本の名前の横に、どの本棚にあるか、〇〇何番という数字が出てきて、それをもとに探せるようになっていると思いますけれども、私の記憶では、開架図書に入っているか、閉架というのでしょうか、カウンターにお願いしないと出てこない本になっているのか、その区別が付いてなかった気がするのですが、間違いであれば、教えていただきたいと思います。今どのような状況になっていますか。

石津 館長

検索をしていただくと、置いてある場所の部分で開架、閉架の表示はされております。閉架の時は一緒に確認していただいて、これは閉架になっているけれど、出して欲しいという要望をしていただくことが可能になる画面になっています。

佐々木委員

ありがとうございます。前に探した時に閉架、開架の区別が見てもわからなくて、散々探した挙句、カウンターにお願いしたら奥から出てきた事があったので、もし、よければ、わかりやすい表示にさせていただけるとありがたいと思います。この間から思っていた事

なので、開架、閉架の表示がされていたのは気が付かなくて、質問してしまいましたけれども、ありがとうございました。

石津 館長

私も普段ホームページなどは見えていますけど、その中では閉架の時に閉架という表示は出ていたはずですので、それで確認はできたかと思います。スマートフォンで実際検索していないので、そちらの方で表示されていない可能性もないわけではないので、定かではないのですが、ホームページ上、いわゆるパソコンの方のホームページ上で見ますと閉架は閉架で表示が出るようになっていきます。

佐々木委員
石津 館長
佐藤 課長

すみません、図書館内にあるパソコンのシステムの事です。

オーパックですね。

閉架の場合は紙に書いてカウンターに渡して下さい、となっております、表示されています。

佐々木委員
田中 委員

ありがとうございます。

色々和多岐にわたって聞いてみたい事があります。細かいことで恐縮ですが、例えば23ページの中学校の学校営繕費のところ、バスケットゴールの修繕費、南町中で650万円もかかるものなのか、気になりました。もしかしたら、バスケットゴール全体が壊れたのですか。

それから、今の図書館の関係ですけれども、電子書籍の購入費の予算を388万円入れていて、大体全体で5分の1ぐらい使っているような感じに見えますが、図書館の予算と言ったらいいのでしょうか。これは今後ともこのくらいの額でずっと推移していくことなのか、それともどのような方針で電子書籍を入れているのかなという事を教えていただければありがたいなと思いました。

それから、25ページの教材備品整備費のところ、楽器や体育用具の更新、修繕とあり、これは、1,359万と書いてありますけれども、楽器に関してもいろいろ各学校の方で要望が強いという事なのかなと思うので、これを対処療法的にやっていくのか、それともどうなのかという事をお伺いしたいと思います。もちろんお金がないとできない事だとは思いますが、楽器が1台30万円くらいしそうな感じの中で、どのようにされていくのかなと、見ていて思いました。

それから、27ページの児童会館の施設整備のところ、蛍光灯照明はもう無くなるという話、LED化ということですが、他に帯広市の社会教育施設で蛍光灯を使っている所はあるのでしょうか、これでおしまいになるのでしょうか。どういう風になっているのか、気になりました。

それから、これは柳川先生に聞いた方が早いかもしれませんが、動物園のところでマンドリル導入とあるのですが、そもそも今、動物は買う事ができないのか、できるのかを確認をしたいと思います。種類によって違うのか、基本的にはレンタルという事なのかとは思

うのですが、先ほど見ていると寄附の中で購入という言葉も出てきています。動物園の中で、整備及び動物の購入という言い方もされていますから、これは買えるのかなど、では買えるものと買えないものがあるのかなど、改めて確認をさせていただければと思います。

それから、最後にもう1点です。概要の基本施策の4のところの黒丸の4つ目のところでアスベスト対策工事で開西小と東小が出ておりましたが、他にはまだあるのでしょうか。

山下 課長

南町中学校のバスケットゴールの修繕の関係でお答えいたします。バスケットゴールにつきましては常設の狭いコートバスケットゴールではなく、オールコートで使う天井吊り下げ式のバスケットゴールになります。それが今下げられない状態ですので、丸ごと交換するという事になっております。以上です。

石津 館長

ご質問中、電子書籍の購入の関係でございます。今年度は前年度に比べまして大きく増やしております、と言いますのも実際に今年度でいきますと1月末までの貸し出し量で10万冊を超えるという事で、大体、月平均1万冊くらいを貸し出ししているような実績となっております。その中の大半は、いわゆる学校での1人1台端末、このような効果もあり、児童生徒さんの方が返せる部分が8割を超えるような形で非常に高い率で貸し出しをしております。そういったところの部分もございまして今回、学校教育部さんにもご協力いただきまして、児童生徒用の図書補助の整備費、こちらの方を活用させていただいております。ただ、今後の方針としましては来年度以降もそういった形で良いかという、それはその時その時の対応を考えていきたいという風に考えています。

高橋 課長

ご質問中の教材備品の部分、整備事業について、今回拡充という事で1300万という金額が出ておりますけれども、この中でこれまでも学校の方で必要な部分、優先的にやらなければいけないという考え方を第一で予算の執行をいただくというような形を取っております。そういった中で楽器や体育用具の中には高額な物がございます。こういった中で今の学校予算の配当の枠の中ではなかなか対応が難しいというものがございました。こういった事につきまして、ちょうど合わせて3月の議会に提案しておりますけれども、教育振興基金、ふるさと納税などで非常にありがたいことにご厚意を頂いている金額が積み上がってきておりますので、この金額の活用ができるような形にして、今回対応していこうということで考えています。具体的に考えている楽器ということで申し上げますと、例えばピアノの更新というところもちょっと古い所があるので購入したいと思っています。ただ、今の金額で全て対応できるものではないので、ある程度古い学校からという事を考えています。今回、修繕の

部分も学校においては入れています。学校の現場から聞いていますとやはり長持ちさせるためには、定期的にオーバーホールという形でメンテナンスしてあげることが大事だということを聞いています。今回は、管弦楽の楽器などもできる限り長持ちさせるという観点から、そういった修繕にも手を入れて、今あるものを長く使えるようにしていくという事も考えています。体育用具については、例えば、サッカーのゴールも、壊れてからというのではなくて、ある程度剥げたところをペンキで腐食防止、錆びないようにするとか、そういった事も考えています。具体的には学校の希望を鑑みて、と考えています。それと、今後対外的にいうお話がありましたけれども、これにつきましては年度ごとの優先がありますので、こちらについては来年度の予算編成の中でという事になります。今の財源であります教育振興基金の積み上げが大事なところになるので私たちも使うだけではなくて、どういう風に学校現場に役立ててきたのかというところもホームページ等でアピールしながら、より寄附を頂けるような、繋げられるような工夫をしていきたいと考えています。以上です。

河瀬 部長

生涯学習施設の蛍光管から LED 化というところで、現在計画的に進めている段階でございます。また、社会体育施設についても昭和から平成にかけてできた建物がほとんどでありますのでまだ古い建物の会議室ですとかそういうところではまだ古い蛍光管を使っているところもございますので、今後、計画的にそういう事を踏まえながら LED の方に交換できればと考えております。

柚原 園長

動物の購入についてというご質問ですが、今回、計上させていただいております 66 万円というのは輸送費だけでありまして、実際にマンドリルの雄は日本動物園水族館協会の中で種別調整というものを行っております。調整者にうちの動物園にふさわしいマンドリルの雄はいますか、という問い合わせをしたところ、快い返事がありましたので、今回は繁殖を目的とするという事で無償となっております。最近、動物を購入したのは商工会議所さんから寄附を頂き、アメリカバイソンを 2 頭ほど購入しました。あと、小動物のモルモットやうさぎは市内のペット業者さんから購入する機会があります。なるべく動物は購入しないで、繋がりを利用しながら計画的に増やしている段階です。以上です。

山下 課長

煙突用断熱材のアスベスト対策工事になりますが、平成 29 年から実施しております。令和 5 年度の開西小、東小を最後に、小中学校につきましては 14 校すべて終了する予定となっております。残り 1 校の南商業高校については、今後、実施していく予定となっております。以上でございます。

柳川 委員

去年、図書のパネルの購入の件で電子書籍は増やされた方がいいですよと

いう意見を出させていただいたのですけれども、私、大学の図書館長をしておりまして、圧倒的に電子書籍の使用が多いです。ペーパーの良いところは認めつつ、学生さんは大半が電子書籍で、よく私が紙の本を読みなさいと言うと、先生昭和ですよ、と言われる。平成の子たちはペーパーベースをほとんど使いませんので、今後は電子書籍、書籍のデジタル化はどんどん進めていかないといけないと思います。何年か前に一橋大学が大雨で書籍が水没して大変な事になったことがあり、それ以来、大学の図書館も電子書籍化を勧めるようになりましたので、これも今後どんどん増えていくのではないのかなという感じがします。

藤澤 委員

学校給食事業に関して、食材価格の高騰に伴いまして学校給食の賄材料費の増という事で、保護者負担を増やすことなく学校給食を提供と、食育推進事業として学校給食の更なる魅力向上のため、地元シェフや生産者等と連携した新たなメニューの開発等、こういったところに予算を入れてくれて、一家庭として学校給食代で家計が苦しい中、こういったところを見ていただいているのは歓迎されるものであり、これからも成果を期待したいと思います。

もう1点、動物園関係の予算が多く、整備などに期待するものがあります。今回、グリーンディングローンだと思うのですが、雄のマンドリル導入にあたり、昨年、雄のマンドリルが死亡しています。これについては獣舎自体の環境は問題ないと思っています。キリンの話になりますが以前のキリンの導入にあたっては繁殖を望んでいたにも関わらず、獣舎や柵の環境整備が後手に回っているような気がします。予算とは関係ないのですがお話したいと思います。グリーンディングローンでの動物の導入というのは調整が難しいところがあると思いますけれども、動物獣舎の環境整備は必至ですので、ある程度の準備をしてからが良いかと思います。キリンの場合は早くに繁殖というか、もう少し繁殖が後、という判断があったのかもしれませんが、職員の飼育現場環境整備も危険な場合もあるのか、という考えもありますので、また予算化する時にいろいろ考えていただきたいと思いました。

柚原 園長

キリンの件ですが、今、自主設計に向けて行っております。その中で環境改善ができるのではないかと考えております。それから、予測できなかったのは親子の相性が悪かったということ、飼育員は危ない状況の中でも飼育作業しています。象、カバ、アシカは環境に合わないということで扱っていない状況です。キリンについては今後、環境を整備して動物を迎えることを理想としております。

佐々木委員

先ほどの、31ページのひろびろチョイスについてですが、アバターとして参加できる児童生徒は不登校になっているお子さん達だけですか。

西田 課長

現在、ひろびろに通って来ている児童生徒もいるのですけれども、そちらに通えないという事で、不登校傾向や不登校になっている子を対象にひろびろチョイスを開通していきたいと考えています。

佐々木委員

という事は、アバターとしてお子さんが登校した場合にその仮想空間で出会えるのは教職員の人たちだけという事になりますか。

西田 課長

不登校生徒同士がアバター同士で会って、チャットして会話したりすることも可能だと聞いております。そういった事も含めて、指導員と不登校生徒との会話や、不登校生徒同士の会話、あるいは学校と繋いで、学校の先生との会話ということも構想としては考えています。

佐々木委員

ありがとうございました。

広瀬教育長

他になれば質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第6号、令和5年度帯広市一般会計予算については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

事務局

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第6号は了承されました。

これより、会議を秘密会といたします。

(以下 非公開)

広瀬教育長

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これを持ちまして、令和5年第3回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。